

耳での検温方法

● 寝ている赤ちゃんを測るとき



- ・耳を上に向けて
- ・片手で頭を押さえ、動かないように

● じっとしていない子どもを測るとき



- ・片手を頭の反対側に添え、動かないように
- ・耳の奥をしっかりと見てから、できるだけ深く

● 耳が小さくて入らないとき



- ・耳の奥に向けて
- ・入り口をぴったりふさぐように

- ・子どもを測るときは、ちょっとだけ工夫が必要です。
- ・測定部の長さが短いため、耳の奥まで入れても、鼓膜を傷つけにくいです。

測る前の注意

飲食や入浴、運動などをした後および外出後の30分間は検温に適しませんので避けてください。

検温中の注意

検温中は動かずじっとしているのが基本です。

耳式体温計について

- ・体の内部の温度を反映した「耳内温^{*}」を測ります。
- ＊「耳内温」とは、耳の中の鼓膜及びその周辺の温度のこと。体の内部の温度を反映し安定しています。
- ・耳式体温計は、耳の中から出ている赤外線センサーが瞬時に検出することで、耳内温を測ります。体からは体温に相応する赤外線が出ているので、赤外線の量を検出することで温度が測れます。

